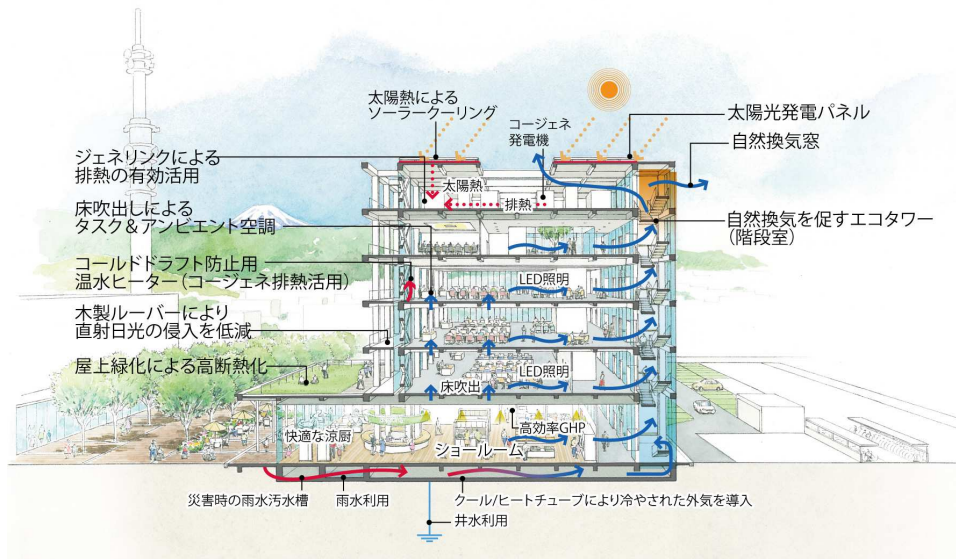
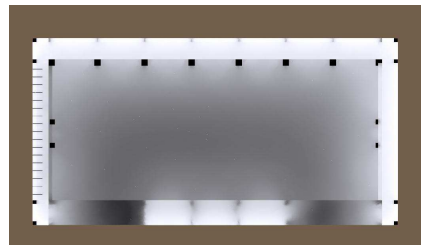


表彰対象建築物名称	静岡ガス本社ビル			環境配慮の内容とその目的
建設地	静岡市			<p>①静岡駅南口エリア活性化のため「エコタウン」を創出</p> <p>建物の足元には、ハナミズキの並木やベンチ、ガス灯を設置した広場を設け、地域の憩いの場とした。広場に面して、ガラス張りのショールームを配置することで、街に賑わいを感じさせる仕掛けを施した。</p> <p>西面外部には、静岡県産ひのき材を用いたルーバーを採用し、厳しい西日をカットしている。木製ルーバーは、耐候性を向上させるため、フェノール樹脂含浸処理を施した。</p> <p>②安全安心な構造で使いやすくサスティナブルな大空間オフィスを実現</p> <p>オフィスフロアは、2本の組柱（ダブルコラム）構造を採用することにより、安全でフレキシビリティの高い約 1,000 m²の無柱空間を実現した。さらに、オイルダンパーを備えた制震ブレースを配した制震構造を採用することで、地震時の揺れを小さくし、災害後の素早い機能回復を可能にした。</p> <p>奥行き深いワークスペースは、通常は壁となる階段やエレベーターシャフトをガラス張りにすることで、4方向からの採光を可能とし、照明エネルギーを大幅に削減している。また、階段室を換気塔とした自然換気システムを取り入れている。</p> <p>③温暖な気候とガスエネルギーを駆使し、災害に強い総合エネルギー企業をアピール</p> <p>エネルギー事業者の本社ビルとして、エネルギーの未来をかたちにした建物をめざし、クリーンな天然ガスと再生可能エネルギーを組み合わせた高効率なシステムを採用した。天然ガスを利用したコジェネレーションによる発電と排熱のうち、電力は太陽光発電とともに建物で使用する電力の一部をまかない、排熱は太陽熱パネルからの熱と合わせてジェネリンクに投入し、冷暖房に活用している。排熱はこの他にデシカント空調、窓際の温水ヒーター及び給湯に余すところなく活用。空調の外気採入れはクールヒートトレンチを経由して、地熱により予冷・予熱している。</p>
建築主	静岡ガス株式会社 取締役社長 戸野谷 宏			
設計者	株式会社日建設計一級建築士事務所 執行役員名古屋代表 西村 浩			
延べ面積	7,348.30 m ²	規模	地上 6	
構造	SRC造、一部S造			
用途	事務所			
CASBEE評価	S	BEE値	3.9	
建築物写真				
建築主として求めた環境配慮に対する総合的なコンセプト	<p>①静岡駅南口エリア活性化のため「エコタウン」を創出②安全安心な構造で使いやすくサスティナブルな大空間オフィスを実現③温暖な気候とガスエネルギーを駆使し、災害に強い総合エネルギー企業をアピール</p>			

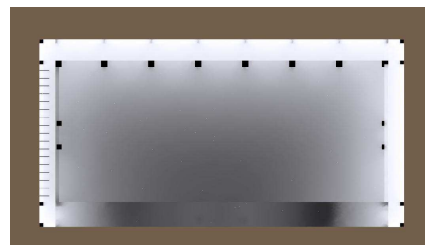
環境配慮の内容とその目的（補足資料）



地球環境配慮への取り組み



4面採光



3面採光(南側が全面壁)